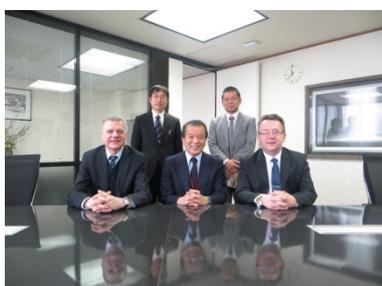


ベラルーシ医科大学副学長及びゴメリ医科大学副学長が来学されました。

平成 25(2013)年 9 月に本学とベラルーシ医科大学及びゴメリ医科大学との大学間協定が締結されたことを受け、この度、平成 26(2014)年 1 月 28 日－31 日の日程でベラルーシ医科大学副学長及びゴメリ医科大学副学長が来学されました。今回の来学では、菊地臣一理事長兼学長を表敬訪問され、2 月より派遣される学生の受入れについて万全を期することが約束されました。また、第 8 回福島災害医療セミナー(上級コース)の講師として、「チェルノブイリからの教訓」と題した講義(1 月 28 日)をいただき、受講者からは「チェルノブイリ原発事故の影響について当事者からの報告は想像を超えるものであった。／初動が極めて重要であることが理解でき、普段の備えが重要であることも当たり前ではあるが再認識した。」との感想をいただきました。

さらに、医学教育や共同研究、今後の本学と両医科大学の連携についても意見交換を行いました。



理事長表敬

- ・後列左より
本学
災害医療総合学習センター長
(衛生学・予防医学講座)福島哲仁教授
- 長崎大学
在ベラルーシ代表部 高橋純平助教
- ・前列左より
ベラルーシ医科大学
ワシリー・ルデノーク(Vasili Roudenok)副学長
本学
菊地臣一 理事長兼学長
ゴメリ医科大学
アレクサンダー・カズロフスキー(Aliaksandr Kazlouski)副学長



講義の様子(ベラルーシ医科大学)



講義の様子(ゴメリ医科大学)



情報交換会